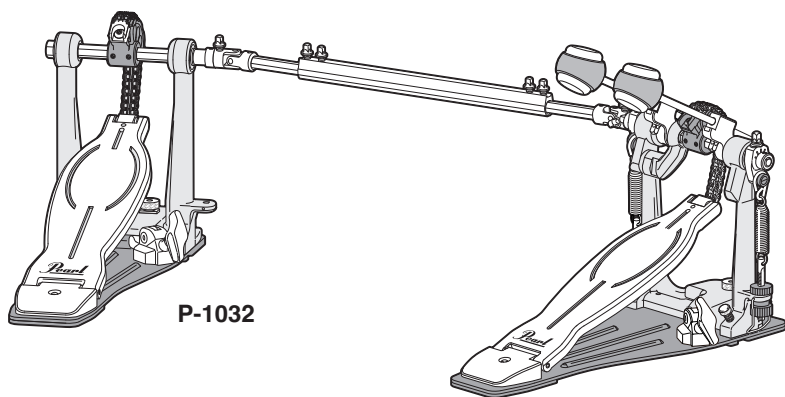


PEARL DRUM PEDAL

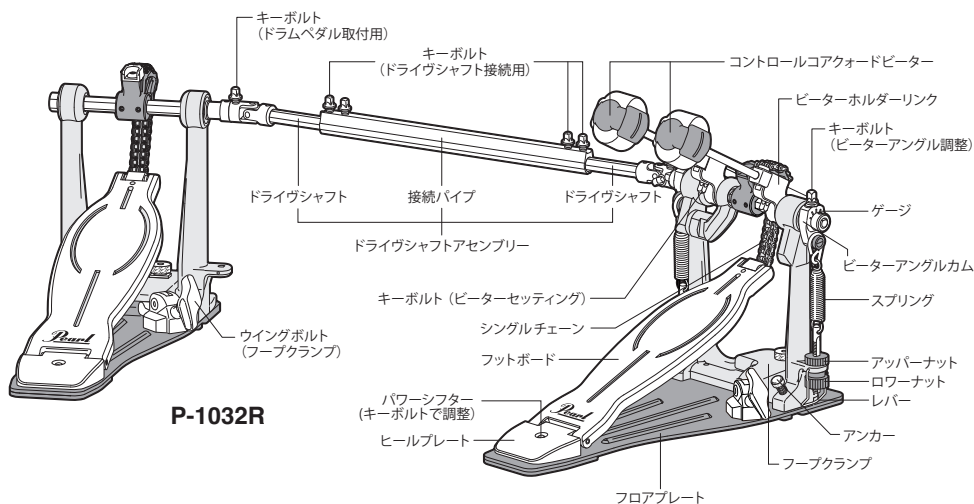
P-1032R / P-1032

取扱説明書

この度は、P-1032R/P-1032 ドラムペダルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
製品の機能を十分に発揮してお使いいただくために、この取扱説明書をぜひご覧ください。



P-1032



コントロールコアクォードビーターのセッティング

ビーターホルダーリンクにビーターストッパーが当たるまでコントロールコアクォードビーターを差し込み、付属のチューニングキーでキーボルトをしっかりと固定します(図1-A)。その際、ビーターストッパーがビーターホルダーリンクにしっかりとハマっている事をご確認ください(図1-B)。ビーターストッパーのポジションを変更する場合は、付属の六角レンチでビーターストッパーのアレンスクリューをゆるめます。お好みのポジションが決まったらビーターストッパーの向きに注意してアレンスクリューを締め直してください(図1-C)。

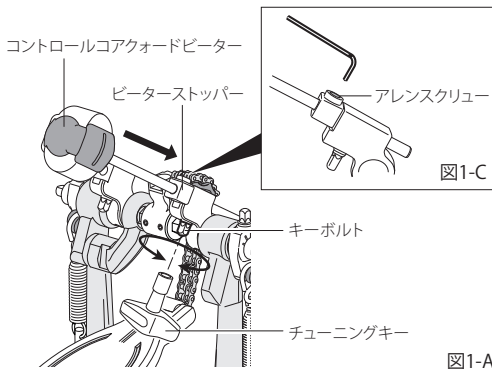


図1-A

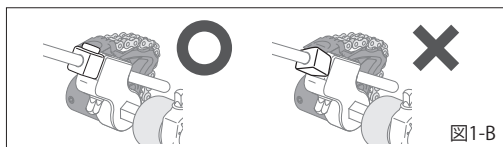


図1-B

ヒント

ビーターストッパーは、セッティングを再現する際にも効果的です。

ヒント

ビーターストッパーの初期設定は、ビーターホルダーリンクの窓にあるインデックスマークと、シャフト上のラインが合わさった位置です(図2)。

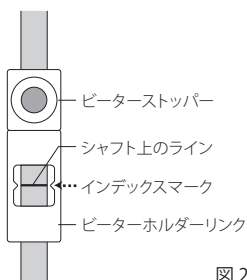


図2

ビーターアングル/フットボードアングルの調整

お好みに応じてビーターアングルを変更する事で、ビーターヘッドとヘッドの距離を調整することが出来ます。ビーターアングルを変更する際は、ビーターアングルカムのキーボルトを緩め、ビーターアングルカムの目盛りと、セットスクリューの位置を目安に調整して下さい(図3)。ビーターアングルとフットボードアングルは連動して変化します。お好みの角度が決まりましたら、キーボルトをしっかりと締めビーターアングルカムを固定して下さい。

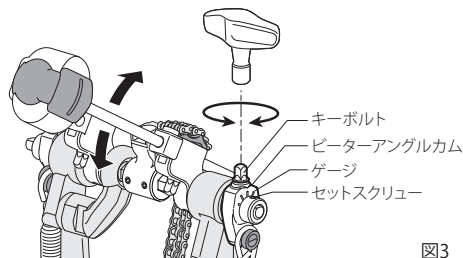


図3

ヒント

最初はセットスクリューの位置を目盛りのAとBの中間にセッティングし、踏みごたえの確認をしてください(図4)。セットスクリューの位置をA側に設定すると、より踏みごたえのある重い設定となり、B側に設定すると、踏みごたえの軽い扱いやすい設定となります。目盛りのAもしくはBより先の位置での設定はより特殊な踏みごたえとなります。

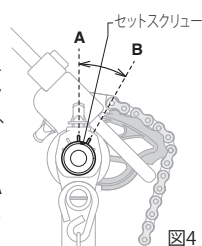


図4

コントロールコアクォードビーター (P-1032R)

スタンダードなフェルト(A,B)とハードな樹脂(C,D)の2タイプの素材を使用した4ウェイビーター。AとCは縦Rでヘッドをヒットし、BとDは横Rでヒットします(図5)。

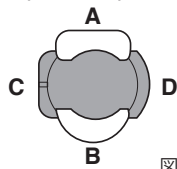


図5

ビーター面	表面素材	サウンド
A	フェルト	丸いアタックで柔らかい音
B	フェルト	するどいアタックで柔らかい音
C	プラスチック	丸いアタックで固い音
D	プラスチック	するどいアタックで固い音

デュオビートビーター (P-1032)

スタンダードなフェルト(A)とハードなプラスチック(B)の2つの面をもつビーターです。お好みに合わせて使い分けてください(図6)。

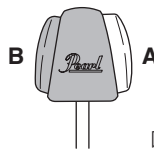
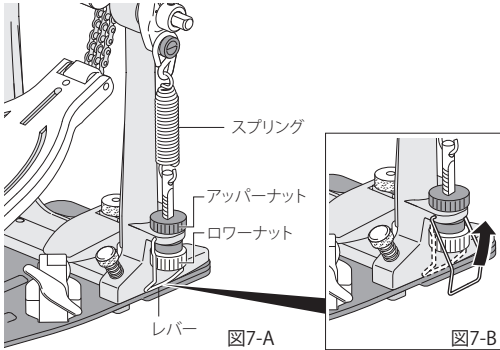


図6

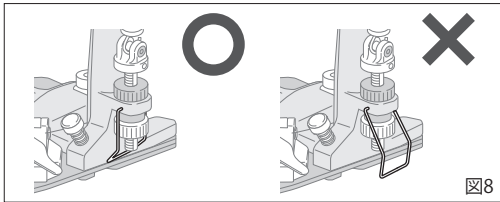
ビーター面	表面素材	サウンド
A	フェルト	丸く太いアタック
B	プラスチック	ハードで鋭いアタック

スプリングテンションの調整

P-1030R/P-1030にはスプリングテンションを簡単かつ確実にロックできる"クリックロック"機構が搭載されております。スプリングテンションを調整するには、まずレバーを上げて解除し(図7-B)、アッパーナットをゆるめます。テンションを強くしたい場合はローナットを締め、テンションを弱くしたい場合は逆にローナットをゆるめます(図7-A)。



好みのテンションが決まりましたらアッパーナットとローナットをしっかり和締めてください(このシステムは、調整後のゆるみを防ぐダブルナット方式ですので双方のナットを十分に締めてください)。最後にレバーをしっかり和ローナットの溝にカチッと合はまるまで下げてください(図8)。



アンカーボルト

ペダル本体の動きを防ぐためのストッパーです。アンカーボルトを時計回りに回すことで剣先が出ます。床面にキズをつける恐れがありますので、状況に応じてお使い下さい(図9)。

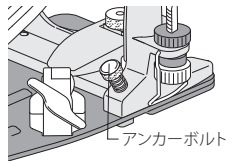
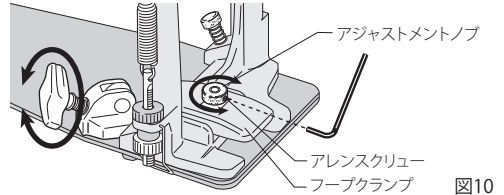


図9

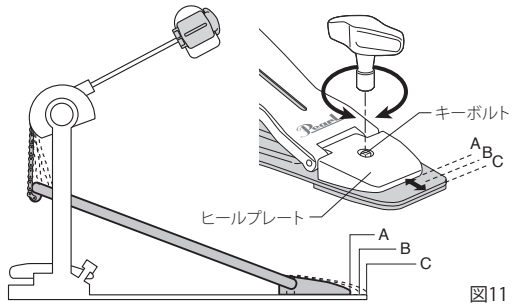
フープクランプシステム

バスドラムのフープをフープクランプではさみ、ウイングボルトを締めてペダルを固定します。工場出荷時には、厚め、薄めのフープにも対応できるようにセッティングされておりますが、フープの厚さが合わない場合やペダルが浮き上がってしまう場合は、付属の六角レンチでアジャストメントノブのアレンスクリューをゆるめ、アジャストメントノブを回して調整してください。調整が終わったら、アレンスクリューを締めて固定してください(図10)。



パワーシフター

フットボードを前後にスライドさせることで、3つの異なるアクションを設定することができるシステムです。工場出荷時はBの位置で設定されています。A、Cの位置に変えるにはヒールプレートのキーボルトをゆるめ、お好みの位置にフットボードをずらしてください。設定が決まりましたらキーボルトをしっかり和締めなおしてください(図11)。



A	踏み込んだパワーがダイレクトに伝わる、踏みこたえのあるポジション。
B	素直なアクションが得られるノーマルポジション。
C	スピーディーなフットワークに対応するポジション。

フロアプレート

フロアプレート裏面のゴムは、ほこりなどが付着するとグリップ力が落ちてしまいます。その場合は湿らせた布等で拭き取ってください。

ドライブシャフトの接続

メインペダルの左側にある接続部(突起部) (B)にドライブシャフトのジョイント部(A)を接続します(図12)。チューニングキーで2つのキーボルトを平らな面(キーボルト1)、側面(キーボルト2)の順番でしっかりと締めつけて固定してください。サブペダルも同様にドライブシャフトを接続します(図13)。その際、接続部の突起部(B)の平らな面が上にくるように六角シャフトを回転してください。

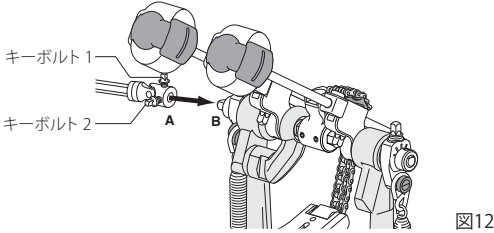


図12

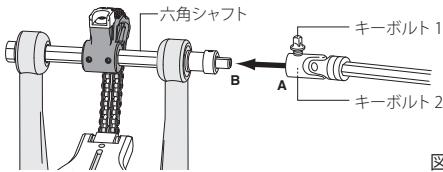
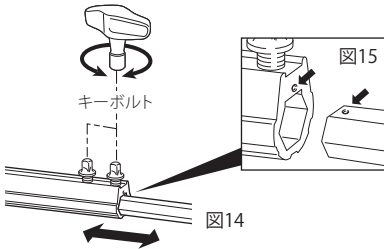


図13

ドライブシャフトの長さを調節するには、接続部のキーボルトをゆるめます。左右のシャフトの長さが均等になるように調整しましたらキーボルトをしっかりと締めつけて固定してください(図14)。



ヒント

ドライブシャフトアセンブリはドライブシャフトが中央の接続パイプにあらかじめ収納されていますが、はずしてしまった場合には、図15のように、それぞれの接続ポイントにあわせて接続してください。

注意

- ◆ アレンスクリューがゆるんだ場合には、付属の六角レンチで締め直して下さい。また、チェーン、カムローラー、フットボードヒンジなどの可動部分には時おり注油(グリス等)してください。

Pearl

パール楽器製造株式会社

〒276-0034 千葉県八千代市八千代台西10-2-1

電話：047-484-9111 (代表)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田593-1

電話：047-450-1090 (テクニカルサポート)

<http://www.pearlgakki.com>

製品改良のため予告なくデザイン・仕様を変更する場合がありますので御了承下さい。

Printed in China

-1912-